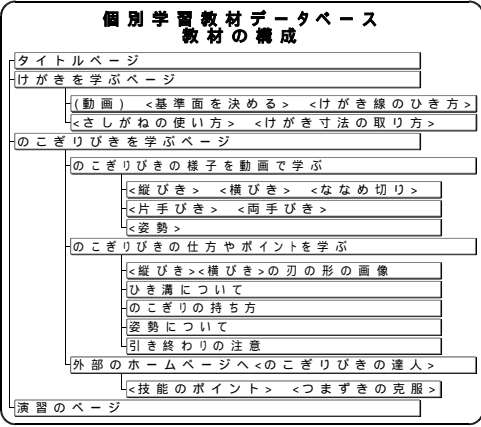


技術・家庭科学習指導案

日 時 平成14年 6月25日(火) 1・2校時
 平成14年 7月 3日(水) 3・4校時
 対 象 水沢市立水沢中学校 1年D組(男子21名・女子18名)
 1年E組(男子20名・女子19名)
 場 所 水沢市立水沢中学校木工室及びコンピュータ室
 指導者 岩手県立総合教育センター情報教育室 加藤暢之

- 1 単元名 技術とものづくり
- 2 単元について - 略 -
- 3 単元の目標 - 略 -
- 4 指導計画 - 略 -
- 5 本時の指導
 - (1) 指導目標 切断の手順がわかり、けがき線に沿って正確に切断することができる。
 - (2) 指導過程

段階	時間	学習活動	支援上の留意点	形態	評価・資料
導入	5分	1 学習内容を確認する 《のこぎりびきの仕方を学習しよう》	・ のこぎりびきの結果の様々な例の画像を提示し、よい例、わるい例など比較させる	一斉	・ よい例、悪い例の画像提示
展開	10分	2 切断の手順(方法)を確認する (1)材料を固定する (2)<縦びき用の刃><横びき用の刃>を確認する (3)のこぎりの当てる位置を決める <あさりの役割> (4)『切り始め』に、ひき溝をつくる (5)『切断中』について ・ 姿勢 ・ <片手びき>と<両手引き> ・ 力の加減 ・ のこぎりを引く時の角度	・ 演示しながら手順を説明する。生徒に見やすい場所へ移動するよう指示するとともにビデオカメラにもうつす。 ・ 材料の大きさ、厚さ、かたさに応じて手、足、万力等で固定するよう指示する。 ・ 切断しやすくするための工夫として、繊維方向によって刃の形を変えていることを拡大して見せる。 ・ けがき線より切り離し材の方向へ線が見える程度の位置を指示する ・ のこぎりの動きを軽くするための工夫として、ひき溝の幅を大きくして摩擦を少なくしていることを拡大して見せる。 ・ のこぎりの当てる位置に対して、つめ先(あて木)の当てる位置を指示する。 ・ 正確に切断するポイントは姿勢にあることを伝え、常にのこ身を真上から見るように指示する。 ・ 右手は中央より柄尻に近い方を握ることを指示する。片手びきの時は、材料を支えている左手が動かないように注意することを伝える ・ のこぎりは手前に引く時に切れるようになっていることを知らせる ・ 「薄い、やわらかい材料の時は、小さく まっすぐに切りやすい」「厚い、かたい材料の時は、大きく 力が小さくすむが曲がりやすい」ことを伝える。	一斉	・ ビデオカメラ【評価】 ・ 拡大図 ・ 拡大図 ・ 拡大図

段階	時間	学習活動	支援上の留意点	形態	評価・資料
展開		(6) 『切り終わり』は、材料を支える	・切り終わりに近づくと切り離し材の重さで材料がかけやすくなることから切り離し材を支える必要があることを伝える。		・失敗例の提示
	20分	3材料を切断(作業)する	・安全な作業に留意するよう指示する。	個別	【評価】 【評価】
	5分	4作業状況を評価する	・作業の様子や切断面について自己評価させる。		
	10分	5課題を確認する 《正確に切断できるようになる》 6正確に切断するための技能のポイントを確認する (1) 『切り始め』のポイント (2) 『切断中』のポイント ＜姿勢の確認＞ ・のこ身と目線 ・のこ身とけがき線 (3) 『切り終わり』のポイント	・自己評価をもとに、今後の作業に対する個々の課題を確認させる ・個別学習教材データベースにある画像を利用して技能のポイントを確認する。 ・つめ先を当てる場面の拡大図を見せる。 ・失敗するほとんどは姿勢にあることを伝える。 ・「のこ身と目線」「のこ身とけがき線」を意識させた拡大図を見せる。 ・切り離し材を支える図を見せる。 ・ここまで学習した、切断の方法や技能のポイントは、個別学習教材データベースで、確認できることを伝える。	一斉	・個別学習教材データベースにある資料の活用 【評価】
	40分	7材料を切断(作業)する 作業を進めるための約束を確認する (1)個別学習教材データベースを活用する (2)安全に留意する 	・切断の手順を定着と正確に切断するための技能の習得のため、教師による個別指導と教師の指導を支援する個別学習教材データベースを活用する。 ・生徒によって、「自信」「不安」はといった気持ちをもっていることに配慮し、自分の課題に合わせ、作業手順や技能ポイントの確認と定着をさせるために、 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">切断の直前 切断の途中 切断の直後</div> のいずれかの場面で個別学習教材データベースを活用するように指示する。その際には個々の課題に沿った活用をするように指示する	個別	・個別学習教材データベースの活用 【評価】 【評価】 【評価】
終末	10分	8評価とまとめ (1)自己評価をする (2)次時の学習内容を確認する	・自己評価の記入を指示する ・次時の学習内容を知らせる		【評価】

(3) 評価の観点

【関心・意欲・態度】のこぎりの手順や切断のポイントに興味を示している。[自己評価][観察]

【関心・意欲・態度】安全に留意している。[観察]

【技能】正確に切断できる。[作品][観察]

【知識】のこぎりびきの手順がわかる。[ペーパーテスト]

【知識】正確に切断するためのポイントがわかる。[ペーパーテスト]